

## IASBが概念フレームワーク（改訂版）の公開草案を公表

IASBは2015年5月28日、財務報告に関する概念フレームワーク※を改善した公開草案を公表し、コメント募集を開始しました（コメント募集期限：2015年10月26日）。IASBは2013年に概念フレームワークに関するディスカッションペーパーを公表しており、コメント募集～審議を経て、今回の公開草案の公表に至っています（概念フレームワークの最後の改訂は2010年）。なお、概念フレームワークの最終版は2016年に公表される予定です。

公開草案では主に以下の内容が新たに提案されています。

- 測定に関する章を新たに作成し、適切な測定基礎および測定基礎を選定する際に考慮すべき要素を説明する。測定基礎は、取得原価および（公正価値を含む）現在価額に分類される。
- 損益計算書は企業の業績に関する主要な情報源であることを確認するとともに、どのようなときに収益および費用が損益計算書外（「その他の包括利益（OCI）」）で報告され得るかに関するガイダンスを追加する。
- 財務諸表の基本的な構成要素（資産、負債、持分、収益および費用）の定義を改良する。

IASBはこのほか、開示に関する取り組みについて2つの公開草案（「会計方針および会計上の見積りの変更」、「重要性に関するプラクティス・ステートメント」）を2015年第4四半期及び第3四半期にそれぞれ公表する予定です。

※概念フレームワーク

IFRSそのものではなく、外部の利用者のための財務諸表の作成及び表示の基礎をなす諸概念について記述したもの。